

美郷がいちばん、すきです美郷

第18号
2009.1.15

ふかしの 議会だより



千矢弓道会初稽古

12月定例会

町独自で農家支援	定例会概要	2
賛成多数で可決する	本会議質疑	4
調査意見を報告	所管事務調査	6
農業問題を3議員がただす	一般質問	8
自然体のボランティア	キラリ美郷人	18

町独自で農家支援



田園アートの稲刈りをする金沢小児童

12月定例会を12月16日から19日までの4日間の会期で開きました。審議した議案は「担い手集積安定化緊急対策事業」が盛り込まれた平成20年度一般会計補正予算など27議案。そのすべてを、原案のとおり可決・同意しました。

12月1日、国が発表した秋田県の平成21年度、米生産削減量は、今年度の豊作の影響により県全体で7820t、前年比では1.6%増加します。このため、来年度以降の生産調整の確実な達成や、町が力を入れている土地利用型作物による集積事業の継続、地域での合意形成や組織の維持が危惧されます。美郷町では、農家への早急な支援対策が必要と判断し、町独自で担い手農家や担い手組織に助成する『担い手集積安定化緊急対策事業』を創設し、一般会計補正予算に1860万4千円を計上しました。

その他、主な一般会計補正予算の内容は、千畑温泉保養所の解体工事費894万6千円、景気後退にともない中小企業振興資金利子補給制度の拡充に280万円などで、歳入・歳出それぞれに1億37万5千円を追加し、予算総額を108億9380万4千円としました。

松田町長二期目の所信を表明

今 定例会では、11月の町長選挙で無投票再選された松田町長が、定例会冒頭に所信表明をおこない「町民が望む美郷の構

築に全身全霊をもつてがんばる」姿勢を示しました。また、監査委員や教育委員などの人事案件に同意し、年度内に着工する防災行政無線施設整備工事の請負契約を可決。一

般質問は9議員が登壇して町政をただし、陳情6件を採択しました。以下、本会議での質疑を4〜5ページ、一般質問を8〜17ページに掲載します。

年頭の所感



美郷町議会議長 伊藤 福章

新年あけましておめでとうございます。景気悪化の中で迎えた年末、町民の皆様にかかれましては平成二十一年の新春を複雑な想いの中で迎えた事と思われま

す。バブル崩壊後の不況を遥かに上回る大恐慌、経済の変調のきざし

しのあった日本へも及び、本県では戦後最長とされた、いざなぎ景気すら感ずる事のないまま、恐慌の波に巻き込まれておりますし、美郷町経済、町民への影響も懸念されているところであります。

政治、経済は表裏一体といわれており、予算や雇用対策が政局として使われる事なく、一時も早い経済対策を図って頂く事を期待するものであります。議会といたしましても、この局面を重視し当局と一体となって町として出来る事に取り組んでまいりたいと

思っております。厳しい経済環境の続く中、美郷町として5回目の正月を迎え、町づくりもこれからが正念場となります。私達も町の抱える課題に地域エゴを捨て、大局に立って前進してまいります。

町民の皆様にかかれましては、更なるご理解、ご協力をお願いします。年末、年始はゆく年を振り返り新しい年を思う時の節目といわれております。激動の一年から、穏やかな一年に願いたいものです。

賛成多数で可決する

一般会計補正予算

交付税の留保分

議員 交付税の留保分と予備費の残高は、**企画財政課長** 留保分7億1千万円、予備費800万円だ。

職員比率

議員 臨時保育士の賃金に關連してだが、正職員と臨時職員の比率が4対6くらいの割合だ。今後どのように考えるか。

町長

町長 今後の、認定ごども園のあり方についてなどを考慮し、十分に検討すべきものと認識している。

事業の周知

議員 省エネルギー型農

業機械導入交付金事業の周知はどのように行われたか。

農政課長 取りまとめ期間が一週間しかなかった。夢プラン事業申し込み者などを中心とした周知になった。

不足金額

議員 担い手集積安定化緊急対策補助金は、産地づくり交付金減額での補正と解釈するが、不足部分の金額は、**農政課長** 5682万円だ。

国の補助姿勢

議員 町が、担い手集積安定化緊急対策事業を創設する事は評価すべきこ

19日の定例会最終日、議案に対する質疑と採決がおこなわれ、一般会計補正予算は賛成多数で可決されました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

賛成討論

高橋猛議員 町当局では、非常に厳しい財政状況の中での農家支援であり、全県でも美郷町だけだと思っただけ努力されたことを評価する。根本的な問題は国の農政にあり、国に強く働きかけることが私どもの使命と認識し賛成する。

飛澤龍右工門議員 生産調整に取り組んだ農家に對する「担い手集積安定化緊急対策補助金」の予算額が低すぎる。増額を求めるために補正予算に反対だ。

防災行政無線請負工事

◆当初予算に計上した防災行政無線工事3億345万円の請負契約議案

入札手順

議員 今回の入札では失格になった業者があるが、

子局の必要性

入札の手順は。**総務課長** 3千万円以上の工事については、基準価格を設定し指名審査会で検討する。

伝達体制

停電時の対応は。**住民生活課長** 維持管理費は360万円ほど、停電時は72時間バッテリーでの対応だ。

議員 子局が114局も必要か。**住民生活課長** 電波、音波試験を地上15mの地点で行った結果の数字だ。

町長 試験を行う際、降雨時でも音声が行き届くことを前提に依頼した。

維持管理費

議員 年間の維持管理費、

議員 子局と親局への伝達、また地震情報などは流せるか。**住民生活課長** 中継局の六郷・仙南、親局の千畑庁舎間は相方向通信で計画する。災害時の連絡用として携帯無線を20基計画している。地震情報についても瞬時に通信できる体制になっている。



防災行政無線の現地調査

◆人事

【美郷町監査委員の選任】



久米 力氏 (再任)

【美郷町教育委員の選任】



後藤貴子氏 (再任)



佐藤 孝氏 (再任)

【人権擁護委員の推薦】



因幡文夫氏 (9月に再任)



藤井康子氏 (12月に再任)

請願・陳情

採択としました

- ◇労働者派遣法の改善のため意見書を提出することを求める陳情書
秋田県労働組合総連合
議長 佐々木 章
大曲仙北地域労働組合総連合
議長 柴田俊英
- ◇医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるために国・県に意見書提出を求める陳情書
秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 中村秀也
- ◇介護保険制度の抜本的改善を国に求める意見書採択を要請する陳情書
秋田県社会保障推進協議会

- 会長 渡辺 淳
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 中村秀也
- ◇法務局の増員に関する陳情
全法務省労働組合東北地方本部
秋田地方法務局支部大曲分会
分会長 高橋一美
- ◇特別支援教育支援員の配置に関する陳情書
秋田県教職員組合仙北市部
支部長 渋谷 聡
- ◇動物移動火葬車廃止を求める陳情書
日本動物霊園連合
代表 久喜清外

提出議案一覧

- | | | |
|--------|---|--------|
| 同意第 1 | 美郷町監査委員の選任につき同意を求めることについて | 〈原案同意〉 |
| 同意第 2 | 美郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 〈原案同意〉 |
| 同意第 3 | 美郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 〈原案同意〉 |
| 議案第 76 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 〈原案可決〉 |
| 議案第 77 | 工事請負契約の締結について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 78 | 市町の境界変更について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 79 | 美郷町公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 80 | 美郷町認可地縁団体印鑑条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 81 | 美郷町国民健康保険条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 82 | 美郷町営住宅条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 83 | 美郷町簡易水道給水条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 84 | 美郷町下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 85 | 美郷町青少年研修施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 〈原案可決〉 |
| 議案第 86 | 平成 20 年度美郷町一般会計補正予算第 6 号 | 〈原案可決〉 |
| 議案第 87 | 平成 20 年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第 2 号 | 〈原案可決〉 |
| 議案第 88 | 平成 20 年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第 4 号 | 〈原案可決〉 |
| 議案第 89 | 平成 20 年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第 3 号 | 〈原案可決〉 |
| 議案第 90 | 平成 20 年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第 4 号 | 〈原案可決〉 |
| 議案第 91 | 平成 20 年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第 1 号 | 〈原案可決〉 |
| 発議第 13 | 原油・肥料・飼料高騰対策並びに国産農畜産物増産・自給率向上を求めることに関する意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 14 | 道路整備予算の確保等を求める意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 15 | 産地づくり交付金制度の見直しについての要望書提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 16 | 医師・看護師不足を解消するための秋田県に対する意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 17 | 医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるための国への意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 18 | 介護保険制度の抜本的改善を国に求める意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 19 | 法務局の増員に関する意見書の提出について | 〈原案可決〉 |
| 発議第 20 | 労働者派遣法の改善のための意見書の提出について | 〈原案可決〉 |



御法川衆議院議員に要望書を提出する松田町長と伊藤議長

調査意見を報告

〔所管事務調査〕

美郷町議会では、10月27日から11月13日の間に、3常任委員会それぞれに所管事務調査をおこないました。そして、調査後の意見集約を議会に報告しました。その内容を要約し掲載します。

総務常任委員会

平成20年11月12・13日

①平成20年度入札状況
現在、町で執行されている入札の仕組みについて説明を受ける。

指名競争入札は、4月1日から10月30日までに143件おこなわれていた。250万円以上の建設工事については町のホームページで公表。

《調査意見》
指名競争入札に地元業者を優先して参加させているが、今後も地域経済発展のため地元業者を優先して指名するべきである。

②町有林の間伐
間伐事業（間伐、除伐、下刈り）実施状況は、平成17年度から19年度までに間伐事業9カ所、51（※工事などの契約で、工事完成直後に発見できなかった欠陥が見つかった場合に受注者が負う責任。）



町有林の所管事務調査

低価格での落札もみられ、契約通りの施工が可能か、瑕疵担保責任の記載や保証が万全か検証し執行すべきである。

《調査意見》
間伐により、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止や機能の維持、木材の需要と高価値につながる。水環境資源の確保からも民有林へも補助事業の活用と啓蒙を図るべきである。今後適切な管理に努めるべきである。

③不納欠損状況及び滞納処理状況全般
町税の不納欠損額は平成17年度、67人、493万円、18年度、70人、536万円、19年度、143人、1428万円と急増している。特に固定資産税と国民健康保険税の増加が著しい。

《調査意見》
滞納対策の実績は、4月から7カ月で1214万円と税の公平性確保と自主財源維持のため努力されている。心もとなない滞納者には更なる対応で望んで頂きたい。

④乗合タクシーの利用状況
4月1日から試験して

いるが10月までの利用登録者数は321人、実利用者数は42人、運行回数157回、利用者181人であった。

《調査意見》
利用者の少なさは当初より懸念されており、制度の周知と啓蒙が必要である。各界の意見を反映させ利用者増をはかるべきである。

教育民生常任委員会

平成20年10月27・29日

①総合学習（道徳、交流、ゆとり教育）の取り組み

文部科学省の方針により、平成14年度から実施している。今回の調査では、六郷中学校の共通テーマ「ふるさと美郷の未来を見つめる」と仙南東小学校3年生の「仙南安全マップ」を対象とした。

《調査意見》
各種の教育効果があると思われる。家庭と地域との連携を密にし、豊かな人間性を育む教育を目指してほしい。



仙南東小の総合学習

②学校給食センターの現状

北学校給食センターの供給校は、千屋、千畑南六郷、六郷東根の4小学校と千畑中学校であり、弁当方式である。供給数は1097人。

南学校給食センターの供給校は、仙南東、仙南西、金沢の3小学校と仙南、六郷の2中学校であり、食缶方式である。供給数は810人。

《調査意見》

両給食センターは配食方式が異なり、それぞれにメリット、デメリットがある。将来的に統一が望ましいが、施設の状態などから急ぐ必要はない。安心、安全と地産地消の観点から更なる地場産食材の活用を望む。

③幼保一体化の運営状況

《調査意見》
臨時職員が多いため、運営面で不安を抱えている

るようであり、少子化の中で充実した対応が望まれる。

10月1日現在の園児数(単位:人)

年齢	人数
0歳児	40
1歳児	66
2歳児	105
3歳児	127
4歳児	166
5歳児	163
計	667

①町内河川の現状

産業建設常任委員会

平成20年10月29日

現地調査した河川と県への要望内容

河川名	大字	要望内容	備考
真昼川	黒沢	伐木、州ざらい	今年度一部整備予定
湯田沢川	六郷東根	伐木	今年度一部整備予定
赤倉川	一丈木	伐木	今年度一部護岸工事実施
善知鳥川	金沢東根	州ざらい	今年度一部整備予定
出川	飯詰、金沢西根	除草、伐木	今年度一部整備予定
出川	六郷東根、金沢、飯詰	州ざらい	今年度一部整備予定
横手川	金沢西根	州ざらい	今年度一部整備予定

《調査意見》

今年度内に一部整備が予定されている場所もあるが、依然として荒廃箇所



堆肥センターの所管事務調査

所も多く、防災上からも県に強力に要望すべきである。

②畑屋、羽貫谷地地区統合簡易水道事業

平成19年度から2カ年計画で実施中。今回は配水管埋設工事、畑屋浄水場を現地調査した。

《調査意見》

工事は順調に進んでおり、早期の供用開始が望まれる。対象世帯の全加

入に向けPRに努められたい。

③平成20年度工事発注状況

建設課関係では、10月28日現在で68件の工事が発注され、塚II地区の町営住宅建築工事を現地調査した。

《調査意見》

早期発注に努めており適切な施工管理が行われていた。

④美郷町堆肥センターの運営状況

美郷の大地の販売状況

販売状況	販売製品	7kg 小袋	260円
		15kg 袋詰	420円
		バラ1.5㎡	4,700円
		フレコン1袋	3,150円
販売実績		堆肥241.9㎡ 金額155万円	※10月20日現在

《調査意見》

製品は順調に生産されており、一部から製品に含まれる水分量に心配の指摘があったが、問題ないとみられた。

利用者のニーズに合った新製品を開発するための調査、研究を望む。

仙北組合病院建設のめどは 明確な見通しは立っていない



戸澤 勉 議員

議員 平鹿病院や雄勝中央病院を利用した町民から、「すぐ立派な病院だ。早く仙北組合病院も建てばえどもな」という声が口々にあがっている。

J A秋田厚生連の決算状況は、相次いだ病院の新築による減価償却費や移転費用などの増大と診療報酬引き下げ、医師不足による一部病棟の休止による患者の減少などが相まって、2年連続の大幅な赤字決算だと聞いている。この厳しい財務状況が、組合病院の建築計画を見通しの立たないものになっていると思う。

町長 平成9年2月に仙北組合病院から諮問が出された。これに答えるため、仙北組合病院建築検討委員会が設置され、平

成14年2月まで、11回の検討の結果、移転新築の計画が示されている。しかし、その後も進展が見られないことから、平成17年早期移転新築推進会議を立ち上げ官民一体の運動を推進しており、平成18年5月に、厚生連経営

管理委員長より、10年後のオープンという一つのめどが示されている。その後の経過については議員指摘の厚生連の事情もあり、明確な見通しは立っていない現状であるが、仙北組合病院は二次医療圏の中核病院と位

置つけられており、医療保健福祉計画に責任を持つ県が、どう進めていくか注視していく。町の責務については、深く認識しており、厚生連と県から、納得できる方向性が示されれば町はできるだけ協力していく。



大仙市の仙北組合病院

一般質問

農業問題を

3議員がただす



今定例会では、9議員が17項目の一般質問をおこない、各般に渡る内容となりました。

質問者

- | | |
|-----------|----------|
| 戸澤 勉 議員 | 戸澤 藤一 議員 |
| 武藤 威 議員 | 中村 利昭 議員 |
| 飛澤龍右工門 議員 | 熊谷 隆一 議員 |
| 深澤 均 議員 | 深沢 義一 議員 |
| 森元 淑雄 議員 | |

議会改革議会全員協議会終了する

10月17日、戸沢藤一議会運営委員長の座長のものと、現町議会議員では最後となる『第7回議会改革議会全員協議会』を開催し、『美郷町議会の運営に関する基準』の見直しなどを協議しました。

現行の議会運営基準は、平成17年12月1日に告示されましたが、実情に即していません。これを直して改正し、平成21年1月1日から施行することに決めました。

また、これまで議会事務局に常備して閲覧に供し、インターネットの美郷町ホームページで公開していた『議会会議録』を、新たに『学友館』に常備して、町民の誰もが気軽に閲覧できるよう決めました。

この決定により『議会改革議会全員協議会』で改革された事項は、
一、本会議と常任委員会出席での費用弁償廃止
一、臨時会での代表監査委員招集の取り止め



戸沢藤一座長

一、次回一般選挙から現行22人の議員定数を18人に削減
一、『美郷町議会の運営に関する基準』の見直し
一、『議会会議録』の新たな公開
の5項目となりました。

制度の矛盾をどう考える

国の議論を注視する

議員 後期高齢者医療制度で保険料の減免申請が認められず、これを不服として審査会に審査請求書を提出している。

減免に対しての制度への矛盾の指摘と審査結果の通知の遅れに対する批判をどう考えているか。

町長 審査結果のおくれは、制度開始から間もないこともあり、審査会の不慣れや体制の不備もあって遅れたが今後はないと考える。

この制度は、当初から対象者の不安が大きく、国で5年後としていた見直しを、前倒しして1年後をめどに検討している。減免制度の見直しについても国の議論の推移を注視している。

国保税収納率アップと無保険の子をなくすには

議員 当町の収納率は県内で3番目にあり、収納率アップの取組み策はどうか。

親の滞納で、子（中学生以下）が無保険になる事例が、県内では160人いるが当町ではどうか。

町長 納税者のご理解と高い納税意識で高い収納率を維持している。町では納税貯蓄組合の協力も得て、納税者の事情に応じ、納期限の延長や分納をしている。納税班の懸命の努力もあり、それらの結果が収納率につながっている。



武藤 威 議員

無保険の子への対応は、子供に責任なしとの考えから特別措置として被保険者証を交付している。しかし、国の保険法が改正され、今後については更新時期の21年9月までに検討する。

給食材料費の公費負担を

議員 食の安全が大問題になっている中での食材費高騰のあたりを受け、食材店や生産農家が価格転嫁できず、栄養士も値段交渉で苦労しているようだ。



千屋小学校の給食風景

育の観点からも公費負担の拡大を求める。

教育長 学校給食法により施設整備や人件費は設置者が負担し、食材料費は保護者が負担している。中国産食材の問題や各材料価格の高騰に対し、食材の工夫や地場食材で対処してきたが、質の確保が極めて困難になっている。

このことから1食当たり10円増の改定を給食センター運営委員会に諮り、理解を得たが、今後、地産地消の推進を図り、安心安全の食材の提供とバランスのとれた食事の提供に努めたい。

産地づくり交付金・町独自の加算を 補正予算に計上した

議員 20年度の産地づくり交付金については、春の座談会などで説明があった交付金額と実際の交付金額との差額があまりにもあり過ぎる。差額補てんのため町独自の加算を出来ないか。

2月に、地域水田農業活性化緊急対策が発動された。6月の時点で転作面積がわかっていたはずだが、今の時期まで交付金減額の説明がなかったのはなぜか。

まじめに生産調整に取り組んでいる農家の芽をつぶすことの無い政策をとるべきだ。

町長 産地づくり交付金は、生産調整参加のメリット対策として、国が一定額を平成19年度から21年度まで地域に交付するものだ。今年度、美郷町に構造改革促進交付金か

らの活用を含め、昨年度より1863万円多い4億6138万円が交付された。国から交付される金額内で、事業を完結することが前提となっている。転作への取組み状況

の拡大によって助成単価が減額されることは、全農家に説明済みだ。しかし、平成21年度以降の生産調整の確実な実施が危惧されるため、緊急的な支援策として町独自に担い手集積安定化緊急対策

事業を創設し、大豆・麦・飼料作物では10アル当り2000円、ソバでは1500円交付すること。21年度も交付金の額に大きな変更はないものと思うので、現在の交付体系を維持するか、抜本的に見直して新たな観点で産地づくり交付金を活用していくか関係者の声を聞き、美郷町水田農業推進協議会で決めた。複合経営の確立での転作推進は重要だ。ブランド品目に対する町独自の作付け支援助成や県事業の収穫機械導入に嵩上げ助成を実施するなど支援策を継続したい。



飛澤龍右工門 議員



ホールクローブサイレージ作業

集落営農組織の目標所得は 360万円以上だ



森元 淑雄 議員

議員 集落営農組織の課題と、その対応についてうかがう。

①水田・畑作経営安定対策では、対象となる担い手が将来的に、他産業並みの所得を確保し得る農業経営とするが、町としては農業所得の目標額または最低必要だという額はいくらか。

②特定農業地利用規模の有効期間が5年となっている。法人化に向けて努力したが、計画期日までに達成できなかった場合は、交付金の返還を求められるのか。

③集落営農組織の法人化に伴い、農業機械・施

設等を法人に無償譲渡した場合譲渡税が課税されるのか。

④夢プランは、来年度も継続されるのか、また町の嵩上げ部分について継続するのか。

町長 ①水田経営所得安定対策への加入については主たる従事者の人数または所得目標を定めるとある。町では、平成18年3月に定めた農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の中で、5年後の所得目標額を主たる従事者一人当たり360万円以上としている。また、その額については、上限・下限という認識はない。

②国では計画通り法人化できない場合でも、直ちに交付金の返還にはつながらないという認識を示しており、その旨集落営農組織にも周知している。国から具体的な許容範囲は明示されていない。

議員 先ごろの協議会では国55%・県30%(予定)・町と受益者が15%となっていたようだが、県の補助額が決定したのか。また町ではどのようなスタンスで取り組みようとしているのか。



稲刈り風景

今後の圃場整備の補助率は

議員 先ごろの協議会では国55%・県30%(予定)・町と受益者が15%となっていたようだが、県の補助額が決定したのか。また町ではどのようなスタンスで取り組みようとしているのか。

町長 県の助成については

避難所の面積は

議員 地域防災計画についてだが、本計画での、

議員 先ごろの協議会では国55%・県30%(予定)・町と受益者が15%となっていたようだが、県の補助額が決定したのか。また町ではどのようなスタンスで取り組みようとしているのか。

は今後県議会で決定されていくもので、現段階では回答できない。町としては、事業費の7・5%の嵩上げ助成を実施する考えだ。

町長 避難所の収容可能人員の算定については通路などの共有スペース分として、延べ面積の20%を減じた面積を有効面積として、概ね3・3㎡当り2人として算出している。

危険な建物への対応は

具体例を検討する

議員 美郷町内で、空き家が目立つようになった。中には、長年の放置によって痛みがひどく、積雪による危険性を感じる建物も散見される。

また、少子化や核家族化を考慮すれば、今後この状況が加速度的に増える予想される。

町は、住民の安全確保や町並みの景観維持上、所有者に対しどのような対応をとっているか。

連携し必要な措置を講ずるよう指示している。所有者の所在が不明で連絡不通の場合は、被害の発生や拡大防止のために応急処置を講じている。

また、長野県白馬村では廃屋対策の条例を制定し、解体撤去を代執行するなどの事例があり、今

後、他自治体の例も検討し具体策を深めたい。

議員 既存交通手段の活用を

バス路線の廃止により、高齢者などから不便さや将来への不安の声を聞く。人に優しい美郷



深澤 均 議員

づくりのために、高齢者の足の確保は重要課題の一つだ。

財政負担を抑えて住民要望に応えるには、スクールバスなど既存の交通手段の運用と運行の検討が『カギ』と考えるが展望をうかがう。

町長 現在町では、乗り合いタクシーを試験運行し、平成21年度の本運行に向けアンケート調査な

どで見直し対応をしているところだ。しかし、試験運行が1年間と短期間のため、本運行の状況も見ながら町に適した公共交通システムを構築したい。

既存の交通手段の活用は、本来の目的に影響する恐れと安全確保に問題がある。また、バスやタクシー業者などの民業を圧迫する可能性が高く、共用は難しい。



スクールバスでの登校

解体跡地の分譲を 利用を検討中だ



解体される千畑温泉保養所



戸沢 藤一 議員

議員 町の総合計画では、合併10年後の目標人口を2万1000人としているが、厳しい感がある。少しでも人口減少に歯止めをかける観点から、次の3点を質問する。

①町内企業での、来年度の新規採用や中途採用の状況。新たな企業誘致の可能性と、町長が首都圏で企業訪問する目的のうかがう。

②核家族化は、今後も進むと予測する。若者の定住促進として、町営住宅建設と宅地分譲を推進すべきだ。また、老朽化した町営住宅の建て替え計画の有無をうかがう。

③千畑温泉保養所の解体跡地を、温泉付き別荘地で分譲できないか。また、今後の公共施設の見直しで生じる解体跡地もインフラ整備された優良物件だ。宅地化や、民間不動産業者への転売を検討してはどうか。

町長 ①町内企業の来年度の採用内定者は、11月末現在で29名。内定取り消しはないと聞き安堵している。

企業誘致は、首都圏や中京圏の企業経営者に対して、町の立地環境や工業振興策の説明をしていく。

②現在、町営住宅の家賃滞納者が増え、宅地分譲地2区画が建設未着工だ。また、町が抱える課題や財政状況を勘案すれば、新たな建設や分譲の推進は難しい。町では、道路整備や除雪など側面支援策を充実し、民間事業者の事業展開を応援したい。

建て替えは、まだ耐用年数内にあり計画はない。

③現在、公共施設や温泉施設は、統廃合や今後のあり方、建物の再利用や跡地利用などを検討中だ。その検討とあわせ議論する内容であり、もう少し時間をいただきたい。

また、サン・アールの源泉湯量は、毎分160ℓで安定しているが、温泉施設以外へ給湯するまでの余裕はない。

公共施設の再編・早期実行を 再編計画案を3月中にまとめたい



中村 利昭 議員

議員 町の財政状況は、経常収支比率が18年度93・3%、19年度91・4%と硬直化している。この状況を改善するためにも、公共施設の再編計画を早く実行すべきだ。そして、空いた庁舎に、例えば県総合保健事業団を招致するなどの考えはないか。

町長 公共施設の再編問題は、町づくりの大きな課題であり、検討と着手は拙速とならないよう進めて来た。

新たな町営住宅建設を

今後結論を一気に急がず、段階的に議論していくが、財政指標の改善タイムリングをおくれないようバランスをとりながら進めていく。

再編後の計画案についても、議会や利用者との意見交換を重ね、3月中に計画案をまとめたい。

議員 10年後、町の人口が2万人を切るとの予測がある。また老朽化した町営住宅もある。定住対策、人口増を図



新築された塚II住宅

新たな中心市街地活性化事業を

る施策として、新たな町営住宅を建設する考えはないか。

町長 現在189戸の町営住宅があるが、築25年以上の住宅もあり、これらに火災報知器の設置やバリアフリー化、大規模改修などに予算投下していく。

新しい町営住宅建築は難しい。

地域振興局を美郷町に

議員 県では、地域振興局の再編問題が議論されているが、大曲と横手の中間である美郷町に振興局を招致する考えはないか。

町長 県と県議会で決定される案件だ。既存庁舎の有効活用が基本であることから実現は難しいと考える。

議員 六郷地区では、これまで中心市街地活性化事業が導入され、さまざまな施策が展開されてきたが、商店街は疲弊している。新たな中心市街地活性化事業によるまちづくりの考えはないか。

町長 これまで整備した環境を活かし、地販地消

流雪溝の整備計画は 千畑地区は国で調査中

議員 町の除雪対策は万全を期しており、関係するスタッフの方に苦勞をかけているが、無事故作業を願いたい。
過去には一晩に60cm

も降ったこともあり、雪国の宿命とは言え道路などの排雪に非常に苦勞している。毎年高齢者家庭が増えており、高齢者のひとり暮らし家庭もあり、

住宅の密集地域と合わせ、流雪溝を望む声が多い。

町長 町の総合計画では、平成26年までに1778万円の予算で流雪溝の整備計画が立てられている。防災事業の中で、六郷地区の整備が計画されているが、千畑地区でも住宅密集地区、例えば、一丈木地区、畷団地、若林集落、北小屋集落などの要望があるが具体的な計画についてうかがう。

町長 町民の安全な冬期交通の確保や均一的な除

雪サービスを提供するため、道路除排雪体制の整備充実を図っている。

議員 六郷地域の住宅密集地の流雪、融雪、消雪施設の整備についても検討している。今年度は調査として、費用対効果を含め、既存施設の有効利用や事業実施可能箇所の把握作業をしている。

町長 この地域では、地下水利用が制限されるため、詳細なデータを基に実効性ある計画策定が必要である。適正管理のための利用組合の設立など、町民の協力が不可欠であり、

意見交換会を開催し実施可能か検討する。

議員 千畑地区では、東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所が計画している「地域用水環境整備計画田沢2期地区」事業での消雪、流雪溝などの地域用水機能整備が可能となっている。町では可能性のある土崎、一丈木、黒沢地区について要望している。現在、国で可能性を調査中であり、結果を待ち対応したい。



六郷地区の流雪溝

議員 多くの集落営農組織から産地づくり交付金の支払い時期をもう少し早く出来ないかという要望が出ている。今年の支払いは12月26日ごろと聞いているが、この時期だとJAなどで金利の発生もあり、できればもう1カ月くらい早く支払いできるような、町として国や県に働きかけができないものか。

町長 交付対象となる全農家の転作面積の確定や集荷団体による加工用利米の集荷数量の最終確定作業が必要のため、その確定事務が12月上旬ま

議員 物販への取り組みについてうかがう。友好都市・大田区との物販では、美郷米にくわえても定期的な販売ができないかと考える。また、地販地消への取り組みとして

町内での定期的な朝市、夕市あるいはフリーマーケットといった人の交流も視野に入れた取り組みの考えはないか。

町長 今年度は「うりこめ美郷応援事業」として大田区に向けて、美郷米の販売促進事業をスタートさせた。この事業の展開は、米をはじめ特産品の通年販売を通じて、農業体験や観光など人的交

流にもつなげることで都市と農村の相互交流を図り、交流人口の拡大で美郷町の活性化を期するものだ。地販地消については、今後とも、継続的な開催に支援する。

議員 冬期営農の取り組み支援は。

町長 今、注目されている米粉加工などについて新たな情報収集に努め、

栽培技術や流通対策についても関係機関と連携し適切な支援に努める。

議員 子ども農山漁村交流プロジェクトについての町の考えは。

町長 町としても、都市と農漁村との交流は重要と認識しており、「うりこめ美郷応援事業」と合わせて積極的に推進したいと考えている。

産地づくり交付金の早期支払いを 関係機関に強く働きかける



深沢 義一 議員



蒲田駅前での美郷米 PR イベント



自然体の ボランティア

『ダンボ』の会会長

沢田 榮子さん
(美郷町六郷在住)



六郷老人福祉センター『清水苑』の一室から、優しい女性の声がかすかに聞こえてきます。静寂と緊張感が入り混じった部屋のなかでは、朗読ボランティア『ダンボ』の会の皆さんが『広報・美郷』を録音中です。終了後、会長の沢田榮子さんからお話しをうかがいました。

『ダンボ』の会は、平成12年に社会福祉協議会の呼びかけで結成されました。以来、目の不自由な方々

(リスナー)へ、町広報や議会だより、みさと福祉だよりなどを『声の広報』として録音しお届けしています。現在、会員数は15名で、毎月2回の録音作業のために交代で集まります。また、年一回、表現技術などの勉強で研修会を実施し、リスナーとの交流会も開催しています。

以前の交流会でのリスナーアンケートを拝見しました。『いつもありがとうございます』と、テープのおかげで町政のことがよく分かり、一町民として自信がもてるようになり

ました』と、感謝の言葉が寄せられていました。

沢田さんは、長年続けているボランティア活動について「決められた期日まで録音しなければならぬという、束縛されるつらさはありませんが、ボケ防止のためにやっています」と笑って語ります。自然体の活動姿勢がとっても素敵だなと感じました。

お問合せ先：美郷町社会福祉協議会
☎85-2294

編集後記

一月四日の消防出初め式から、平成21年の町の仕事が始まった。

防災の町づくり事業で防災行政無線や避難所が整備され、安全・安心の町づくりが一歩前進する事になり喜ばしい事だ。全国各地で起きている、家族が犠牲になった火災のニュースには心が悼む。

我が家でも火災報知機をつけなければ、『備えあれば憂いなし』

熊谷 隆一

訂正とお詫び

第17号、10ページ下から2段目の文章中「10分」は「10オール」の間違いでした。

議会特別委員会

議長	伊藤 福章
委員長	吉野 久
副委員長	高橋 正治
委員	熊谷 隆一
委員	鈴木 良勝
委員	熊谷 良夫
委員	戸澤 勉

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。